

令和4年度若年技能者人材育成支援等事業連携会議（第1回）議事概要

議題

- (1) 令和3年度若年技能者人材育成支援等事業実施結果について
- (2) 令和4年度若年技能者人材育成支援等事業実施計画について

質疑応答

御意見・御質問内容	回答
本校は専攻科という教育課程があるが資料中の「専攻科」は、それを意味するのか、学科を意味するのか教えてほしい。	厚生労働省の文章が専攻科という用語を使っている。確認したところ工業高校の学科に当たる。
<p>2025年度までに中学校の卒業者数が13,000人減ると言われている。そういう中で人材不足になっていくことは目に見えている。工業高校の生徒もしっかり育てていかないと今後の産業界というのは、大変なことになるのではないかと危惧をしている。</p> <p>これからの工業高校の生徒数も減っていく。今現在、高等学校の工業科は定員割れを起こしている状況もある。</p> <p>しっかりと、小学校・中学校にも手を入れていかないと、このことは解消できない。本年度は無理だということは理解しているが、以後しっかりと皆さんが、小中学生・高校生に対して教育をしていかなくぎり産業界の発展は厳しいものになると考えている。御理解と御協力をお願いしたい。</p>	<p>マイスターの活動が、実技指導だけではなく、これからものづくりの技能者を目指す、小学生以上の若い人たちにもものづくりのやりがいとか社会的意義をわかっていただくことは大変重要なことだと理解している。今回の厚生労働省の予算の縮小に伴い、5月に厚生労働省も含め全国会議を行ったが、その場でも小中学校のものづくり体験会が復活できるよう来年度の予算の措置について要望が出されたところである。協会としても、来年度の予算要望について、別に中央職業能力開発協会の取り仕切りで各都道府県の意見を集約した形で、書類で厚生労働省に提出した。</p> <p>国の状況は、連携会議時に情報提供したい。</p>